

霧島市「今週の一問」 中2国語 二月八日  
H二十六年鹿児島学習定着度調査問題（中2）から

一 青木さんの学級では、文化祭で和太鼓わたいこを発表をして大好評だった。次の【会話文A】は、その発表直後の青木さん、山口さん、田中さんと担任の先生の会話である。

【会話文A】

青木「やったね。こんな大きな拍手をもらうと、あきらめないで練習してきた甲斐があるよな。」

田中「こんな感動的な気持ちになるのも、きつい練習を重ねてきたからだな。」

山口「これも、仕事が終わってからぼくたちに太鼓の指導をしてくださった尾崎さんのおかげだよ。」

青木「そうだね。太鼓のたたき方やばちの振り方も最初は全然知らなかったのに、尾崎さんが丁寧に教えてくださったから、リズムに合わせてたたくことができるようになったんだよ。」

山口「確かに。あいさつなどの礼儀にも厳しい人だったよね。最初、僕たちは恥ずかしくて尾崎さんにあいさつや返事もできなかったけれど、そういうことも指導してもらったおかげで、元氣よくあいさつしたり返事したりすることができるようになったよね。僕は、最近、近所の人やすれ違う人にも自分からあいさつできるようになったんだ。」

青木「僕は他の人より太鼓の上達が遅くて、尾崎さんに一度やめたいと言ったことがあったんだけど、『ここであきらめたら自分に負けただけのことになる。』と励ましてくださった。だから、練習できるようになったときの達成感も大きかったし、いい思い出になっているんだ。」

山口「はい。そうしてみます。」

青木さんは、尾崎さんへのお礼状の下書きを書き、山口さんと田中さんに見てもらい、アドバイスをもらうことにした。そのときの

【お礼状】と【会話文B】を読み、あとの問いに答えなさい。

拝啓

落ち葉が風に舞う頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日はお忙しい中、私たちの和太鼓練習の際に、いろいろと教えてくれて、ありがとうございました。

おかげさまで、文化祭でも大成功でした。とても嬉しかったです。今回教えていただいたことを、これからの生活にも生かしていきたいと思えます。

尾崎さんの一層のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

十一月十二日

〇〇中学校

青木〇〇

尾崎〇〇様



【会話文B】

青木「尾崎さんへお礼状を書いてみたんだけど、どうかな。」

山口「この手紙、言葉遣いで適切でないところがあるよ。」

田中「それに、形式はきちんとしているようだけど、なんだか自分たちの感謝の気持ちがうまく伝わっていない気がするな。」

山口「あ、この手紙は  から感謝の気持ちが伝わりにくいんじゃないのかな。」

青木「そうか。じゃあ、それが分かるように書き直すことにするよ。」

一 【会話文B】の中に、「適切でないところ」とあるが、【お礼状】の中から適切でない部分を抜き出し、正しく直して書け。



二 【会話文B】の空らん②に当てはまる、最も適当なものを、次の1〜4から一つ選び、番号を書け。

- 1 季節を表すあいさつが正しく書かれてない。
- 2 体験した内容や感想が具体的に書かれてない。
- 3 誰に当たった手紙か、はっきりと書かれてない。
- 4 どのような目的で書かれたものか分からない。

三 【会話文B】をふまえて、青木さんになったつもりで、尾崎さんから教わったことや学んだことが伝わるように、【お礼状】の点線で囲んだ部分を直して書け。  
ただし、手紙文として整ったひとまとまりの文章とすること。

霧島市「今週の一問」 中2国語 二月八日  
H二十六年鹿児島学習定着度調査問題(中2) から

一 青木さんの学級では、文化祭で和太鼓を発表をして大好評だった。次の【会話文A】は、その発表直後の青木さん、山口さん、田中さんと担任の先生の会話である。

【会話文A】

青木「やったね。こんな大きな拍手をもらうと、あきらめないで練習してきた甲斐があるよな。」

田中「こんな感動的な気持ちになるのも、きつい練習を重ねてきたからだな。」

山口「これも、仕事が終わってからぼくたちに太鼓の指導をしてくださった尾崎さんのおかげだよ。」

青木「そうだね。太鼓のたたき方やばちの振り方も最初は全然知らなかったのに、尾崎さんが丁寧に教えてくださったから、リズムに合わせてたたくことができるようになったんだ。」

山口「確かに。あいさつなどの礼儀にも厳しい人だったよね。最初のころ、僕たちは恥ずかしくて尾崎さんにあいさつや返事もできなかったけれど、そういうことも指導してもらったおかげで、元氣よくあいさつしたり返事したりすることができるようになったよね。僕は、最近、近所の人やすれ違う人にも自分からあいさつできるようになったんだ。」

青木「僕は他の人より太鼓の上達が遅くて、尾崎さんに一度やめたいと言ったことがあったんだけど、『ここであきらめたら自分で負けたことになる。』と励ましてくださったって、練習後も一人だけ教えてもらったことがあるんだ。だから、練習できようになったときの達成感も大きかったし、いい思い出になっているんだ。」

山口「はい。そうしてみます。」

青木さんは、尾崎さんへのお礼状の下書きを書き、山口さんと田中さんに見てもらい、アドバイスをもらうことにした。そのときの【お礼状】と【会話文B】を読み、あとの問いに答えなさい。

拝啓

落ち葉が風に舞う頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日はお忙しい中、私たちの和太鼓練習の際に、いろいろと教えてくれて、ありがとうございました。

おかげさまで、文化祭でも大成功でした。とても嬉しかったです。今回教えていただいたことを、これからの生活にも生かしていきたいと思えます。

尾崎さんの一層のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

十一月十二日

〇〇中学校

青木〇〇

尾崎〇〇様



【会話文B】

青木「尾崎さんへお礼状を書いてみたんだけど、どうかな。」

山口「この手紙、言葉遣いで適切でないところがあるよ。」

田中「それに、形式はきちんとしているようだけど、なんだか自分たちの感謝の気持ちがうまく伝わっていない気がするな。」

山口「あ、この手紙は [ ] ② から感謝の気持ちが伝わりにくいんじゃないのかな。」

青木「そうか。じゃあ、それが分かるように書き直すことにするよ。」

一 【会話文B】の中に、「適切でないところ」とあるが、【お礼状】の中から適切でない部分を抜き出し、正しく直して書け。

教えてくれて

・教えてくださって ・教えていただいて ・お教えいただき

二 【会話文B】の空らん②に当てはまる、最も適当なものを、次の1〜4から一つ選び、番号を書け。

- 1 季節を表すあいさつが正しく書かれてない。
- 2 体験した内容や感想が具体的に書かれてない。
- 3 誰に当たった手紙か、はっきりと書かれてない。
- 4 どのような目的で書かれたものか分からない。

2

三 【会話文B】をふまえて、青木さんになったつもりで、尾崎さんから教わったことや学んだことが伝わるように、【お礼状】の点線で囲んだ部分を直して書け。  
ただし、手紙文として整ったひとまとまりの文章とすること。

(例)

尾崎さんには、和太鼓の演奏に関する技術的なことを教わっただけでなく、あきらめそうになったときに、励ましていただけ、練習後もひとりだけ教えてもらいました。そのおかげで、できたときの達成感も大きく、最後まであきらめずに頑張ることが大切だということや学ぶことができました。(134字)

◆評価観点①

会話文から、太鼓以外で教えてもらった内容や感想に触れて書いている。

◆評価観点②

手紙文として、整った文章で書かれている。